

大切にしたいもの

1 対象学年 中学3年生

2 ねらい

終戦から67年が経過した。戦争を体験した方が減少している今日において当時の悲惨さを語り継ぐことが難しくなっている。そのようななか、生徒は社会科の学習などで戦争について学習をしてきているが、戦争は自分とはかけはなれた歴史上の出来事という認識になってきている。

本学級に在籍する生徒27人のうち、18人(67%)が核家族であり、祖父母と同居している生徒は9人(33%)だけである。そのうち、終戦(昭和20年)を経験された祖父母がいる生徒は7人(26%)である。祖父母がいる家庭でも、終戦直前に生まれた方がほとんどであるため、戦争について語り継ぐことが難しい状況にある。そこで、今後の社会を担っていく世代である生徒に、戦争について語り継ぐことで、戦争のない平和な世界を形成していこうとする意識を高めたいと考えた。

自由に食べられる、好きなときに家で静かに眠ることができる、お風呂に入って清潔にしていられる環境の中で生きてきた生徒は、日頃の生活の中で平和について考えたことがほとんどない。そのため、給食で好き嫌いを平気で口にしたり、自分が嫌なことは他人に押しついたりするなど、嫌なことや苦しいことを避けている姿が見られる。このような環境の中で育ってきた生徒に、実際に日本で起こった戦争体験者の書き残した資料を活用し、当時の悲惨さを知らせることで、今日における生活の豊かさを感じさせ、今の自分の生活を大切にしなければならないことに気付かせたい。また、平和な現代に生きていることへの感謝の気持ちを育みたい。

3 授業計画

(1) 学習計画(4時間完了)

時	テーマ	学習内容
1	戦争について知っていることを話し合おう	戦争の様子や当時の生活の様子について生徒にアンケートをとり、知っていることを班でまとめ、発表する。
2	戦争当時の様子を知ろう	愛教組資料「火垂るの墓」を視聴し、空襲や原爆があった戦争当時の様子を知る。
3	戦争の体験記を読もう	資料「焼け跡に立つ虹(主題名:電柱から血が)」 実際に戦争を体験した話を読み、筆者が伝えたかったことについて考え、平和とは何か考える。
4	今の自分が大切にしたいものを考えよう(本時)	資料 「焼け跡に立つ虹(主題名:銃後の苦しかった生活)」 戦争当時の生活と現在の生活と比較し、今日における生活の豊かさとありがたみを感じ、今の自分が大切にしたいものについて考える。

(2) 本時の学習

① ねらい

- ・ 戦争当時の生活と現在の生活とを比較して考えさせることで、今日における生活の豊かさとそのありがたみを感じさせ、大切にしたいものについて考えさせる。

② 読み物資料 「焼け跡に立つ虹」 主題名：銃後の苦しかった生活

③ 学習の流れ

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
5分	1 現在の生活の中で不満に思っていることを発表し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食で嫌いな食べ物が出てくる。 ・ お父さんが宿題をやるようにうるさい。 ・ 塾があって、テレビを見る暇がない。 </div>	○ 思いつかない生徒には、「嫌なこと・苦しいこと」と置き換えて考えさせる。
3分	2 戦争当時の生活を写真で知る。	○ 現在の日本の生活と比較させるために、当時の写真を見せ、その後、戦争体験記を読ませる。
10分	3 戦争体験記を読む。 (1) 資料を読む。 (2) 戦争当時の生活にはどのような特徴があるか考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物が少なくて苦しかった。 ・ 薬が少なくて病気がはやっていた。 ・ 安心して寝ることもできなかった。 </div>	○ ある程度書けてきたところで、お互いの考えを共有させるために、グループで話し合わせる。
12分	(3) 戦争当時の生活と現在の生活を比較して、気付いたことを発表し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今は食べるものがすぐに手にはいる。 ・ コンビニなどがある今はとても便利だ。 ・ 戦争当時に比べると今は家族や友達と </div>	○ いろいろな視点から現在の生活の豊かさをとらえさせるため、全体の前で発表させる。
15分	4 大切にしたいものについて話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食で好き嫌いをしてはいけないことの大切さがわかった。 ・ 家族や友達と一緒に時間が過ごせることが幸せなことだとわかったから、大事にしたい。 </div>	
5分	5 授業を通して感想を書く。	

4 実践のまとめ

【第1時】戦争について知っていることを話し合おう

生徒のアンケートから、戦争についていろいろなイメージをもっていることがわかった。中学3年生ということもあり、国語科や社会科などの今までの学習から、戦争は恐ろしいものというイメージが強く、戦争はしたくないという意見が多くみられた。アンケートに書いたことをもとに話し合いをさせると、人によって戦争へのイメージが異なっており、「戦争についてもっと知りたい」という声があがった。

【発問】

戦争とはどのようなものですか。または、どのようなイメージをもっていますか。

【生徒の意見】

- ・ 悲惨で、グロテスクなもの。多くの人々が亡くなって、多くの人々が悲しむ。
- ・ 爆弾があったり、銃が出てきたり、血のイメージができるので、負のものだと思う。
- ・ 人が死ぬ。食べ物が無い。戦争をやりたくなくても男の人は戦わなくては行けない。

【第2時】戦争当時の様子を知ろう

戦争の資料を使って、鮮明な戦争当時の映像を見せたことで、文字だけではイメージしにくいところも伝えることができた。また、「この地域ではどのような被害が出たのか知りたい」という声や、「戦争を体験した人の話を聞いてみたい」という声があがり、次の実践へのつながりができた。

【第3時】戦争の体験記を読もう

☆資料「焼け跡に立つ虹（主題名：電柱から血が）」

戦争体験記として、資料を配付し、当時の様子について話し合いを行った。広島や長崎に原子爆弾が落とされ、日本に甚大なる影響が出たことは、国語科や社会科などで学習してきたが、地元の愛知（名古屋や豊橋）にも空襲があり、危険な状況であったことは、初めて知った生徒が多かったようだった。そのため、生徒が、筆者の書いた文章に釘付けになって読み入り、戦争の悲惨さを感じているようであった。



【授業の様子】

【授業後の生徒の感想】

- ・ 今日の授業で、印象に残ったことは、名古屋でも爆弾が落とされたことです。初めて知ってびっくりしました。
- ・ 今日の授業を振り返ってみて、戦争は怖いもので人が死んでしまういけないことだと思った。「電柱から血が」という話を読んで、やっぱり戦争はあってはいけないことだと思った。
- ・ 何回も戦争のことを授業でやったけど、そのたびに、やっぱり戦争はしてはいけないなあと思います。筆者のように戦争を体験した人とかが伝えたいことを守って、戦争は私たちの世代では絶対にさせません。

【第4時】今の自分が大切にしたいものを考えよう(本時)

☆資料「焼け跡に立つ虹（主題名：銃後の苦しかった生活）」

前時の授業で、戦争は恐ろしいもの、二度と起こしてはいけないものだという意識が高まっていることがわかった。しかし、「空襲や原子爆弾でたくさんの方が死ぬから戦争は起こしてはいけない」という感想が多かった。戦争の恐ろしさは、空襲や原子爆弾だけではなく、当時の市民の生活の苦しさにもかかわってくることに気付かせたいと思い、実践を行った。

導入では、今の自分が不満に思っていることを生徒に自由に発言をさせた。生徒からは、「眠たい」「宿題（勉強）が嫌だ」「親がうるさい」「給食の量が多い、まずい」「お小遣いが少ない」などの意見が出てきた。そこで、資料を読み、戦争当時の生活についてまとめた。食べ物が少なかったことや、空襲で疎開をしなければならないことなどは、国語科や社会科の学習を通して知っている生徒が多かった。しかし、赤痢などの病気が流行していたことや、のみやしらみの発生、それに対応するための薬が不足していることなどについては、知らなかった生徒が多かったようで、驚きの声があがっていた。



【話し合いをする生徒たち】

戦争当時の生活についてまとめた後に、現在の生活と比較をさせた。授業の導入であげた不満とも比較しながらグループで真剣に話し合いをしている姿が見られた。

【発問】

戦争当時の生活と現代の生活とを比較して気付いたことを書こう。

【生徒の意見】

- ・ ごはんの量が今に比べると少なかった。食べ物をすごく大切にしていた。
- ・ 服などは手作りの物が多かった。
- ・ 今は清潔で環境もよいが、昔はお風呂やトイレにも入れずに困っていた。
- ・ 戦争時は小学生も働いているのに対して、今は家族とも暮らせて勉強もできて平和に暮らせている。

【発問】

あなたが大切にしたいものを書いてみよう。

【生徒の意見】

- ・ 今は、平和で裕福な生活をしているから、そのことに感謝して生きていきたい。
- ・ 今では食べ物があることが当たり前だけど、戦争中は食べ物がなかったから、大切にしたい。
- ・ 家族はかけがえのないものだから、これからも大切にしたい。

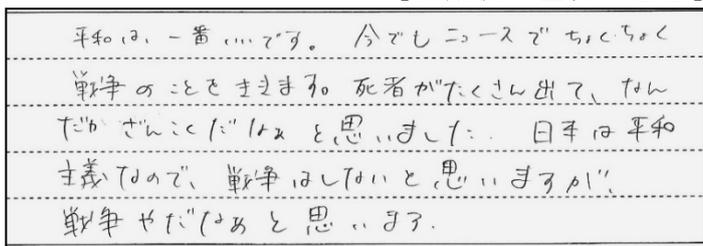
戦争当時の苦しい生活と平和な現代の生活を比較させることで、現在の生活がいかに平和で豊かなものであるか気付かせることができた。十分に考えを深めた後で、豊かな現代に生きている生徒に、今大切にしたいものについて考えさせた。

今の生活はとても豊かであり、家族や食べ物などを大切にしていかなければならないという思いが生徒の中で高まってきていることがわかった。

5 実践の成果と今後の課題

【授業後の生徒の感想】

授業後の感想に生徒が右のようなことを書いていた。この感想から、実践を通して、戦争の悲惨さ、平和な世界の大切さを生徒に感じさせることができたと考える。また、実践後に学級の中で給食を残す生徒が減ってきたり、



家族で話をする時間が増えたということを書いたりする生徒の姿が見られた。今の平和な生活を大事にしたいという思いが高まったためであろう。ものが豊かな時代に生活している現代の子どもたちだからこそ、平和の学習を通して、今の生活に感謝する気持ちをこれからも育てていくことが大切だと感じた。また、現在の平和を維持し、戦争は起こしてはいけないということに気付かせることができた。

『 大切にしたいもの 』

3年（ ）組（ ）番 名前（ ）

- 今の自分が不満に思っていることを書き出してみよう。

- 戦時中の生活と現在の生活とを比較して気付いたことを書いてみよう。

- ☆ **あなたが大切にしたいものを書いてみよう。**

- 授業の感想を書こう。
